

平成20年度事業計画

ばね産業の環境

(社)日本機械工業連合会の生産動向報告によれば、日本の機械工業は増加基調が続く企業収益を背景とした企業の設備投資と底堅い個人消費に支えられ、輸出もアジア向けを中心に概ね堅調に推移している。原材料の高騰や米国サブプライムローン問題への信用不安という懸念材料はあるものの、生産は緩やかながら拡大基調が続くと見られる。こうした中で平成19年度の機械工業生産額は前年度比2.8%増となる見通しである。

金属製品分野：

前年度比(以下同様)1.6%増となる見通しである。機種別にみると、鉄構物・架線金物は3.7%減、ばねは0.3%増、機械工具は特殊鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド工具すべてが増加し、全体では4.2%増加する見通しである。

自動車分野：

乗用車では企業収益の回復から所得の改善が期待されること等により国内では微増、軽乗用車は、新型車投入数の減少等により軽自動車シフトが一段落することから国内では微減、商用車では、自動車NOx・PM法の規制対象台数が大幅に減少すること、軽トラックにおける小規模商店や農家の構造的減少による需要減等から減少するものの、乗用車、商用車ともに輸出は堅調に推移するものと見込まれ、自動車全体では1.0%増の見通しである。自動車部品は日系自動車メーカーの海外での自動車生産が好調に推移し、その結果、国内外の自動車部品生産は増加が続いており2.7%増となった。産業車両はフォークリフトが国内では一進一退の動きであったが世界的な需要の拡大が続き、ショベルトラックは上期が堅調に推移し、下期は前年並みになると予測され全体で7.1%増となった。

金属製品統計(経済産業省)：

ばね製品の生産高と販売額について平成19年度(歴年)を振り返ってみる。(出典：経済産業省 鉦工業動態統計室/金属製品統計)

平成19年ばね生産実績は、全体を俯瞰すると重量で566千トン(前年比103.7%)、金額で3,762億円(前年比106.2%)となり、7年連続で対前年度比増と好調基調を継続している。品目別に見ていくと、熱間成形ばねは重量で347千トン(前年比105.0%)、金額で890億円(前年比101.2%)となり、冷間成形ばねは重量で219千トン(前年比102.0%)、金額で2,872億円(前年比104.6%)である。熱間成形ばね分野、冷間成形ばね分野共に順調に推移している。

平成20年度日本ばね工業会の基本方針

総務委員会、技術委員会、標準化会議、及び技能検定推進会議の諸活動を柱とし、本部事業の充実と支部活動の活性化を図っていく。

- ・総務委員会は本部事務局の定常業務を管轄し、役員会で議決された特別テーマの遂行等に当たるものとする。また、各地域ばね工業会相互の国際会議への参画（海外開催時の訪問団結成及び国内開催時の設営）の任に当たるものとする。
 - （1） 国際交流： 11月開催予定の国際ばね会議（タイ/バンコク市）訪問団結成
 - （2） 機関誌ばね： 編集方針立案
 - （3） ホームページ： ホームページ活用のための諸施策立案
 - （4） 改正公益法人制度： 対応策立案

- ・技術委員会は会員企業の技術者及び技能者のレベル向上を事業の柱とし、本年度は以下のテーマに取り組む。
 - （1） ばねハンドブックによる技能検定講習会を、支部技術委員会が中心となって、例年通り実施する。平成20年度合格者目標数160名以上。
 - （2） 1級技能士の育成に注力する。
 - （3） FEM解析講習会： 過去の開催結果から、より良い企画を立案する。

- ・標準化会議は国内諸規格の整備を図ると共に、諸外国特にアジア諸国との連携を深め、国際規格づくり活動を推進する。
 - （1） ISO/TC227 ばね
 - a. 国際幹事業務の支援； 本年11月6~7日にタイ/バンコク市で開催される第四回TC227本会議開催に向けて準備を整える。
 - b. 国内委員会活動の展開；
「ばね用語」及び「ばねのショットピーニング」のFDIS段階推進。
「熱間成形圧縮コイルばね」のCD段階推進。
 - （2） 政府委託標準化推進： 以下の2事業の委託を請けて標準化を推進する。
 - a. JIS規格開発事業（止め輪）
 - b. アジア太平洋国際標準化研修事業（平成20年10月；ベトナム/ハノイ市）
 - （3） 自動車技術会規格： 以下の規格改正に取り組む。
 - a. JASO F107:1998 「自動車部品 ばね板ナット」
 - b. JIS D3621:1982 「自動車用ホースクランプ」
 - （4） 日本ばね工業会規格： 新規制定「ばね用鋼線の硬さ測定方法」に取り組むほか、定期見直し3規格の改正を行う。

- ・技能検定推進会議は年2回の会議を招集し、地区別技能検定推進部会の提言に基づき、各都道府県単位で実施される金属ばね製造技能士検定試験における地域差を排除するための諸施策を取りまとめる。
取りまとめた提言は中央職業能力開発協会（JAVADA）に報告し、中央指令として各都道府県に周知徹底することを期する。

(社)日本ばね工業会組織図

